



霧島市 よんたもんせニュース

国際交流員 イ・ジュンヨブ

2023年
12月

皆さん、アンニョンハセヨ！韓国国際交流員のイ・ジュンヨブです。突然ですが皆さんは韓国ではどのような住まいがあるか気になったことはありませんか？様々なメディアで、高層マンションをよく見ることがあります。韓国の時代劇では、日本と似ているようで、何か異なる家を見て、違和感を感じたことがあるかも知れません。「住まいなんか大体どこでも同じでしょう。」と考える方も多くいると思います。ですが、韓国と日本、両方で住んだことがある私にとっては、「隣の国なのにここまで異なるのか」と驚いた時もありました。今回は「韓国の家」に関して紹介します。

韓国の伝統家屋

韓国の伝統家屋のことを「韓屋(ハノク)」と言います。韓屋と聞くと、瓦の屋根でできている家のことを思い出します。この家を瓦の家という意味で「기와집(キワジブ)」と呼びます。このような家に住んでいるということは、経済力のある人であることを意味します。その理由は、キワジブを建てるためにかかる費用が高かったからです。



기와집(キワジブ)

なら庶民の家はどのような家だったのでしょうか。それは「초가집(チョガジブ)」という家です。草の家という意味で、屋根が藁でできているのが大きな特徴です。このチョガジブ以外にも地域によって様々な形の家がありましたが、最も知られている庶民の家はチョガジブです。



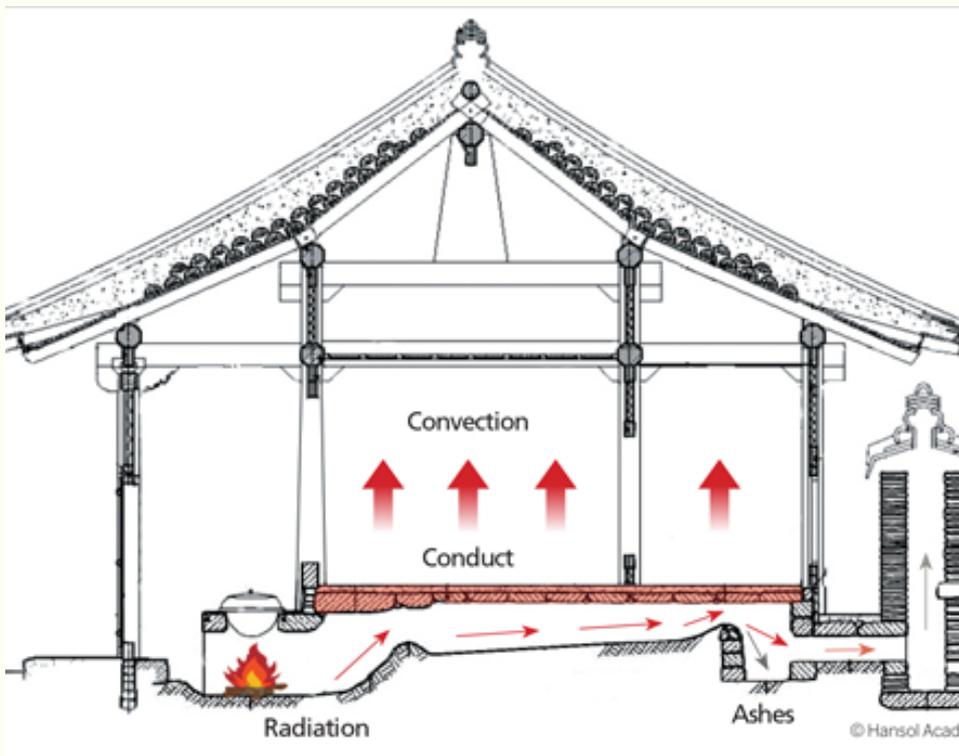
초가집(チョガジブ)

韓国の暖房「온돌(オンドル)」

韓屋の特徴を語る時、この「온돌(オンドル)」は欠かせない特徴です。オンドルとは、韓国伝統の暖房方式です。台所で使う火の熱気を家の下に回すことで、床が温かくなり、やがてその熱が部屋全体を温かくします。この方式は韓国の国家無形文化財として登録されています。

オンドルは韓国人の生活に多くの影響を及ぼしました。韓国の伝統家屋をみると二階建ての家はなかなか見つかりません。その理由の一つとしてオンドルがあります。このような構造の暖房を2階にも設置できる技術が当時なかったからです。なので、当時の家は一階建てが主になっていました。

現代では技術の発展により、お湯を床の下に回す形に変わりました。おかげで、階数関係なくオンドルを設置できるようになり、今では、ほとんどの家でボイラーを用いて暖房を使用しています。

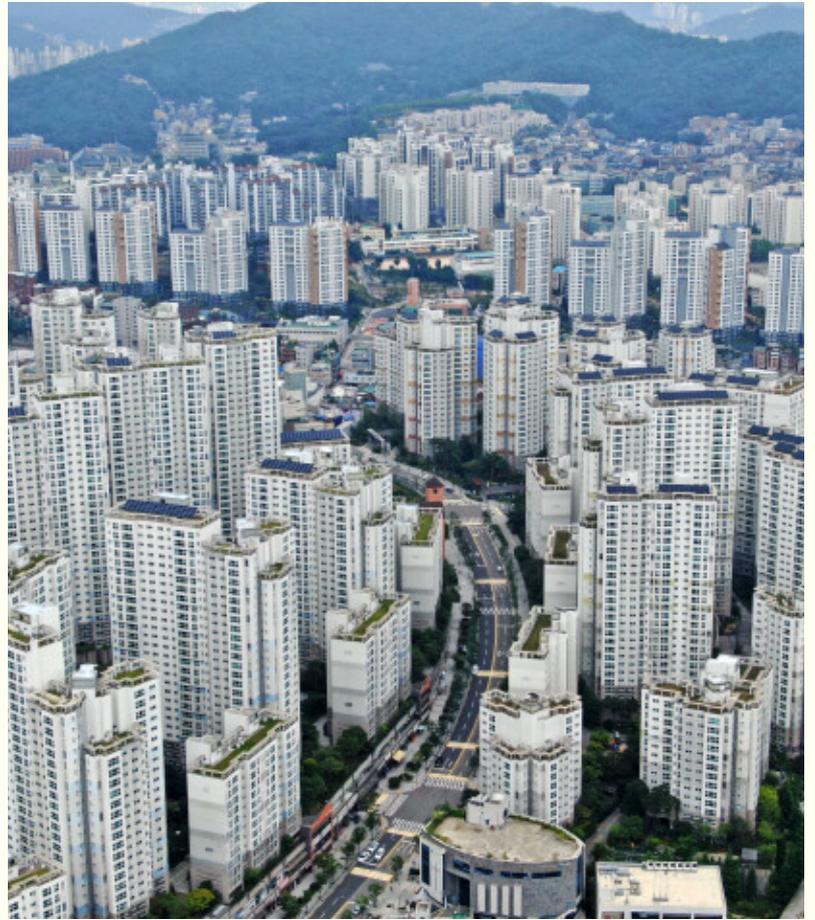


オンドルの原理

高層マンションの国

では、今の韓国の住まいはどのようになったのでしょうか。現代の韓国は高層マンションの国と呼んでも過言ではないくらい多くの人々が、高層マンションで住んでいます。なぜ、一階建ての家から高層マンションに変わったのでしょうか。その原因の一つとして、政府の政策があります。

韓国政府は経済復興のために様々な政策や事業を行います。その事業の一つとして高層マンション事業を始めました。しかし、最初は人気がありませんでした。当時の生活スタイルがマンションに向いていなかったからです。ですが、徐々にソウルの人口が増え、その人口に対応するためにマンションも増えていきました。その後、政府の支援を追い風に、庶民のマンションだけでなく、高級マンションも登場。不動産市場の好況が重なって、韓国でマンションは人気を得てきました。今では多くの韓国人がマンションに住むようになりました。



韓国の高層マンション

マンション以外は？

もちろん、高層マンション以外にも様々な住まいがあります。

大学生や一人暮らしの人が主に使う「ワンルーム」、または「オフィステル」という住まいがあります。基本的な家具や家電がすでにそろっていますし、広さも一人で住むには十分な広さです。所得が少ない方々が使う「屋塔房(オクタバン)」や、映画で話題になった「半地下(パンジハ)」などもあります。

一般の住宅もあります。その中でも、韓屋を一般の住宅として使うこともあります。一部の地域では、韓屋が集まった韓屋の村があります。海外の観光客にとって、簡単に行けるソウルの「北村韓屋村(プクチョンハノクマウル)」がその一つです。韓屋村に行くと最も韓国的な趣を感じることができます。



ソウルの韓屋村

国際交流員の新しいInstagram！！

新しい日本語版のInstagramを作りました。
講座の情報やイベントなどについて配信しています。
国際交流イベントをここでチェックしてみてください。

